

KiKiの広場

2013年 4月 1日

cafe NO.30
KiKi



♪ 昨年は桜が待ち遠しく感じられましたが、今年は「おいおい、ちょっと待ってよ。」というくらい早めの開花となりました。3月の中頃から、庭の花たちもいっきに咲き出し、近所のうぐいすたちも鳴き方の練習(?)をし始め、今ではすっかり上手になりました。寒暖に振り回される人間と違って、他の生き物たちは、しっかりと春の訪れを感じているのでしょうかね。桜は散っても葉桜を楽しみながら、まだまだ身近にいっぱいある春を見つけないといけません。

4月の予定

9日(火)	休館日
-------	-----



🍰「今月のケーキ」…「シューバナケーキ」 300円 🍰

バナナとカスタードクリームをシュー皮でサンドし、アクセントにほんのり苦いチョコレートを効かせた、年代を問わず楽しめる KiKi 一押しのケーキです。



今月のお気に入り…「春を感じる絵本」

～ 「わっこほっこ」「根っこのごともたち 目をさます」「はるかきた」「はるゆらゆら」「つくし」「まゆとりゅう」などなど ～



もとは1冊の絵本の「わっこほっこ」と「根っこのごともたち 目をさます」。作者は、ジビュレ・フォン・オルファース（ドイツ）です。1906年作なので、100年も前から読み継がれた本です。絵本の持つ優しさ緻密さ可愛らしさは変わりませんが、訳と出版社の違いで、ずいぶん印象が違った絵本になっています。「わっこ〜」は、オルファース自身の文で詩的に訳されていますが、「根っこ〜」は、アメリカで出版されたもの（アメリカの方の訳）を、石井桃子さんが訳されおり、物語風になっています。雰囲気の違いを楽しみながら、春が訪れることの喜びと季節がめぐる自然の美しさ、そして再び帰ってくる母なる大地のあたたかさを味わってみてください。



今月の本棚…「スズキ コージの世界」



～ 「きゅうりさんあぶないよ」「エンゾくんきしゃにのる」「なんでも見える鏡」「ひつじかいとうさぎ」などなど ～



独特の世界観、本から飛び出してきそうな迫力満点の絵、大好きな作家の1人スズキコージさんの特集です。ヤギの乳で育ったというスズキさん、絵本作家にとどまらず、画集・漫画・映画や演劇のポスター・舞台装置や衣装・店の看板やマッチ箱・壁画・はたまた自身のライブなど、ダイナミックな生き方は、まさしく絵本の中に出てくる様々な幻獣のよう。奇想天外・摩訶不思議なストーリーと絵ですが、細部までこだわっていて、主人公とは関係ないところにも小さなストーリーがあったり、風刺があったり、思わずくすっとなったり、何度も読み返してみたくなるそんなスズキワールドをぜひお楽しみください。



ほっとフレイク

3月のある昼下がり、スーツ姿に旅行バッグを抱えた青年が入って来られました。これからこの近くの会社の面接を受けられるそうで、なんと富山から来られたとのこと。実家はすぐく田舎で東京に出ていく友だちが多いけど、自分はあるな都会に行くと思ふものが多いので、のんびりした田舎の方が向いていると言われました。その後、宇部について観光や物価などいろいろなことを聞かれました。その中で一番返答に困ったのは、「宇部の女性はどうか？」という質問です。「へっ？」と思いながら、逆に「富山はどうなんですか？」と聞くと、「ちょっと気が強いように思います。」と。う〜ん、なんて答えようかなと悩みつつ、「宇部の女性は優しいと思います。」ときっぱり答えました。（ひ、ひとにもよるでしょうけど・・・(〜;)）青年は「よかった。」とニコリ。出られる時、「頑張ってくださいね。」と声をかけると、「はい、行きます！」と元気よく出て行かれました。またまた宇部のお母さんになった気持ちです。ファイト!!!

